

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成30年8月30日 (2018.8.30)

【公表番号】特表2017-527963(P2017-527963A)

【公表日】平成29年9月21日 (2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2017-506383(P2017-506383)

【国際特許分類】

H 0 1 M 4/525 (2010.01)

H 0 1 M 4/505 (2010.01)

H 0 1 M 10/0525 (2010.01)

H 0 1 M 4/131 (2010.01)

【 F I 】

H 0 1 M 4/525

H 0 1 M 4/505

H 0 1 M 10/0525

H 0 1 M 4/131

【手続補正書】

【提出日】平成30年7月18日 (2018.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

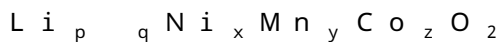
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式



(式中、 \quad は、想定空孔含有量を表し、 $p + q + x + y + z = 2$ 、 $0.06 < q < 0.15$ 、 $0.88 < p < 1.01$ 、 $0.1 < x < 0.45$ 、 $0.05 < y < 0.6$ 、及び $0.05 < z < 0.5$ である。)

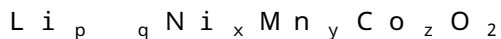
で表されるリチウム遷移金属酸化物を含むカソード組成物であって、

前記リチウム遷移金属酸化物が、O3タイプ構造を有し、

Li金属箔を対電極として使用し、1MのLiPF₆を含有するカーボネート系電解質を使用して前記組成物を試験した場合、30℃で10mA/gを使用した、Liに対する、2.0～4.8Vでの不可逆容量が、10%未満である、カソード組成物。

【請求項 2】

式



(式中、 \quad は、想定空孔含有量を表し、 $p + q + x + y + z = 2$ 、 $0.05 < q < 0.15$ 、 $0.8 < p < 1.02$ 、 $0.05 < x < 0.45$ 、 $0.05 < y < 0.6$ 、 $0.05 < z < 0.6$ 、及び $0.14 < p * x < 0.34$ である。)

で表されるリチウム遷移金属酸化物を含み、

前記リチウム遷移金属酸化物が、O3タイプ構造を有する、カソード組成物。